

清瀬市子ども・子育て支援総合計画（素案）に対して提出された意見等の概要及び意見に対する事務局の考え方

このことについて、清瀬市パブリックコメント実施要綱第8条及び第9条に基づき、令和元年12月23日から令和2年1月16日までの間、清瀬市子ども・子育て支援総合計画（素案）に対する意見募集を行った結果、3人の方から9件の意見が提出されました。

これらの意見を適宜要約し、項目ごとに整理したうえで、意見に対する清瀬市子ども・子育て支援事業計画（素案）の市の考え方を取りまとめましたので、清瀬市パブリックコメント実施要綱第8条及び第9条の規定により次のとおり公表します。

1 意見の分類及び件数

- (1) 妊娠・出産・子育てまでの切れ目のないサポート体制の整備について・・・1件
- (2) 地域の子育て力・家庭の教育力を育むまちづくりについて・・・・・・・・・・1件
- (3) 配慮が必要な子どもや家庭への支援の充実について・・・・・・・・・・2件
- (4) 教育・保育の量の見込みと確保方策について・・・・・・・・・・2件
- (5) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について・・・・・・・・1件
- (6) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件

## 2 意見の内容と事務局の考え方

### (1) 妊娠・出産・子育てまでの切れ目のないサポート体制の整備について

	意見等の概要	市の考え方
1	<p>母子保健法、子育て支援法、それぞれの担当課の違いや費用の出処の違いなど、難しい面もあるかと思いますが、包括的な子育て支援を行ってください。滞りなく子育て支援につなげていくためには、産前からの連携が必要です。</p> <p>メニューが揃っているから「支援できている」わけではないので、今一度、理念や視点が反映されているか、利用者や現場の実態や声が反映されているか、メニューの中身の確認をお願いします。</p>	<p>清瀬市では、平成 29 年度より妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援を目指し、妊婦及び就学前までのお子様とそのご家族に対し「スマイルベビーきよせ」事業を実施しております。</p> <p>今後も、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のないサポート体制の整備に向けて、母子保健部門と子育て支援部門等が連携し、妊娠期から子育て期にわたり、きめ細やかな支援を切れ目なく行えるよう努めます（「子育て世代包括支援センター事業」の実施）。</p> <p>また、妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発や、妊婦・保護者への適切な情報発信を行うとともに、電話や面接・訪問での相談対応等を行うほか、出産前後の支援充実に努めます（産後ケア事業の実施を検討）。</p>

### (2) 地域の子育て力・家庭の教育力を育むまちづくりについて

	意見等の概要	市の考え方
1	<p>家庭や地域の中で健全な子育てをしていくためには、「繋いでいく」支援が必要不可欠であり、その中で子どもや親自身が力や自信をつけていくという視点を持たなくてはなりません。困った時に孤立することなく、人や地域の資源を活かして一緒に乗り越えられるような、そんな地域作りに繋がるメニューになっているのかどうか、質的な見直しをしていただきたいと思います。</p>	<p>本計画で掲げている、地域との協働で行う子育て支援の充実にに向けて、ご意見いただきましたとおり、メニューについて、利用者の方からの声などを踏まえた見直しを行い、より一層の充実に努めてまいります。</p>

(3) 配慮が必要な子どもや家庭への支援の充実について

	意見等の概要	市の考え方
1	<p>清瀬市内には早期療育が必要な重度の肢体不自由児が通園する施設がありません。市内の施設で早期療育を受けることができる環境作りを期待します。</p> <p>また、現在、学校教育等においてもインクルーシブ教育が実現されており、軽度～重度の子、様々な多様性の受け入れ体制ができてうれしく思います。その一方で、学童期前（0歳～6歳）の障害児を受け入れ保育してくれる（療育以外で）ところが少なく困っています。レスパイト的な要素のある施設を希望します。</p>	<p>清瀬市は、子どもの発達支援・交流センターをはじめとする療育機関が充実しておりますが、医療的ケアを提供できる機関がなく、重症心身障害児への支援に課題があると認識しております。</p> <p>この事態を打開するため、当市では第5期障害福祉計画において、特に医療的ケアを必要とする児童への支援のため、今後も障害福祉計画に基づき、重症心身障害児、医療的ケア児への支援の充実に向けて協議を重ねていきたいと考えております。</p>
2	<p>インクルーシブ公園の設置をお願いします。</p> <p>アメリカにはスペシャルニーズがある子が安全に安心して一緒に遊べる公園があると聞きます。障害児を持つ親も子どもも、また、そうでない親も子どもみんなで楽しめ、安全に安心して過ごせる場ができることを期待しています。世田谷区と府中市にできるようですが、そこへ通うのは大変です。清瀬は自然も子どもも多く、子育てもとてもしやすいです。そんな清瀬市にインクルーシブ公園ができれば、さらに障害児にも喜ばれる市になります。障害のある人、ない人が共に利用でき安心、安全に過ごせることでお互いの成長にもつながるとともに、同じ地域に住んでいることも分かってもらえると思います。</p>	<p>スペシャルニーズを必要とするお子さんも必要としないお子さんも安心して安全に一緒に遊べるインクルーシブ公園が、東京都内では国営昭和記念公園（立川市）にあり、都立砧公園（世田谷区）と都立府中の森公園（府中市）に新たに遊具広場をつくる考えを示しております。</p> <p>東京都では2019年度にこの2つの都立公園に約1億円をかけて、車いすのお子さんがゆるやかなスロープを登って遊べる大型遊具の設置や、地面にはクッション性のあるゴムチップ舗装がされて転んでも大丈夫のように配慮がされるようです。</p> <p>このようなインクルーシブ公園を設置するには、大きな公園面積や設置費用が必要となることから、他自治体の設置事例を研究しながら、あらゆるお子さんが安心して安全に遊ぶことができるよう、どのような支援・配慮ができるか今後研究してまいります。</p>

(4) 教育・保育の量の見込みと確保方策について

	意見の概要	市の考え方
1	<p>学童クラブの現状において、トイレの数が不足している、高学年の受け入れにあたっての整備が遅れているので、予算や補助金を確保して整備ができるように事業計画に入れてください。</p>	<p>学童クラブ設備の整備や修繕については、事業計画に記載すべき事項ではありませんが、毎年度予算の確保に努め、優先順位を付けて対応していきます。</p>
2	<p>乳児保育園を廃園にしないでください。待機児がいる0～2歳児の保育を民間任せにせず、公設公営を維持してください。</p>	<p>これまで公立保育園を廃園する際には、地域の状況や私立保育園の設置状況を見ながら、保育需要の高い1歳児を中心に定員を増やして待機児童対策を実施してまいりました。乳児保育園は予定通り令和4年3月末で廃園させていただきたいと考えておりますが、これまでの考え方と同様に、廃園と同時に私立保育園を新設し、定員を合計で8人増やして待機児童対策を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>なお、保育の実施義務は市が担うことになっており、義務を果たすうえで、「民間でできることは民間にお願いする」という方針に基づき、民間保育所による保育提供をしています。</p>

(5) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

	意見の概要	市の考え方
1	<p>数値に表れてこないニーズを見落とさないようにしてほしいと思います。本人がニーズに気づいていないケースや、利用したくてもできないケース、サービス自体を知らないケース、様々な「制度の狭間」が現実起きています。そのような現状起きている問題や声の吸い上げを行ってほしいと思います。サービスもメニューも本当に必要としている人が利用できなければ意味がなく、利用してもらうにはメニューや制度を並べるだけではない、プラスアルファの働きが必要です。地域に出向いての調査、子育て世帯の生活レベルでの困難さや隠れたニーズに気づくこと、困難ケースと向き合っている現場の声、是非拾い上げてほしいと思います。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、サービスを真に必要なとしている方に適切な支援を行うことができるよう、今後もより一層の働きかけを行い、相談・助言・情報提供等の充実に努めてまいります。</p>

(6) その他

	意見の概要	市の考え方
1	<p>このパブリックコメント募集は知り合いからの情報で知りました。その後、市報およびホームページで確認をしました。疑問として、果たしてどれぐらいの子育て世帯がこの募集を知っているだろうかということをおもいました。募集は不十分であるように思います。また、市のホームページのトップページから専用フォームを見つけることが難しく、積極的な募集の意思が感じられず残念でした。</p> <p>パブリックコメントは意味があることですが、お飾りであってはならないと強く思います。</p>	<p>清瀬市では平成17年12月1日から、市の重要な施策を策定する過程でその案を公表して、市民の皆様からご意見をいただくため、パブリックコメントを実施しております。</p> <p>「子ども・子育て支援総合計画」についても、過去に清瀬市で実施したパブリックコメントの公表同様、市報・市のホームページ・行政資料コーナー・各公共施設等で行ったところがございますが、その周知が不十分であるというご意見を踏まえまして、今後のパブリックコメントの公表にあたっては、周知方法等をあらためて検討いたします。</p>

2	<p>清瀬市子ども・子育て会議については議事録を全て読んだわけではありませんので、コメントする程の情報量は持ち合わせていませんが、数値に基づいた量的な過不足についての話し合いや確認作業がメインのように感じました。計画途中であっても、より充実したものにするための質的な話し合いやブラッシュアップは必要で、子ども・子育て会議では数値だけでは見えない利用者の声、現場の声、制度の狭間に落ちてしまうケースについての話し合いも取り扱っていただければと思います。</p>	<p>計画の適正な進行管理を進めるため、庁内関係各課において施策の進捗状況について把握するとともに、計画全体の成果を検証することが重要であると考えております。そのため、子ども・子育て会議では、毎年度、計画に基づく事業の進捗状況等の点検・評価を行っております。</p> <p>また、計画と実績に乖離がある場合は、計画期間の途中であっても、計画の中間見直しを行い、子育て世帯のニーズを反映した計画にしていきます。</p> <p>その中で、ご意見いただきましたとおり、数値だけでは見えない様々なニーズも取り扱ってまいります。</p>
---	---	---